



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

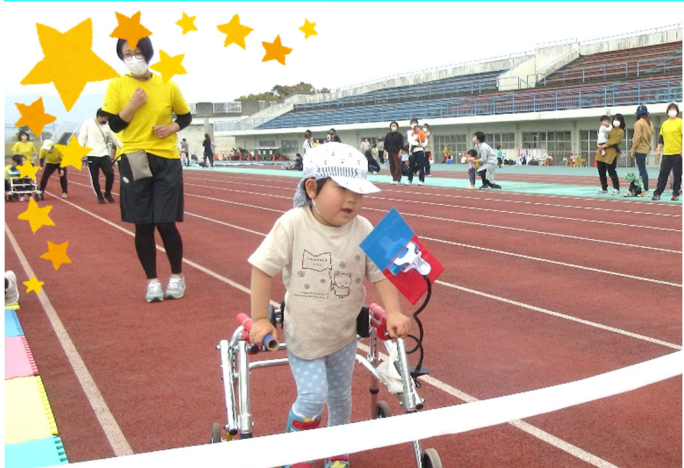
そら

発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



ゆう・はぐ・しろくま マラソン大会



令和4年 11月 11日(金) 開催しました!



心の窓



放課後等
デイサービス
歩くん

歩のかーちゃんになって、12年が経ちました。

12年前、過呼吸になりながら、血を吐きながら産んだ子は、名前の通りゆっくりと成長しています。
何事も「どうにかなるやる」で乗り切ってきた私ですが、子育てに関してもそうでした。

3歳児健診で言葉の遅れを指摘された時も、そのうちしゃべるようになるやろうと、様子を見ることになりました。しかしその1年後、どうにもこうにも伝わらず、初めて壁にぶつかりました。市の方からこぐまを紹介され、「広汎性発達障害」と診断されました。

歩は人と環境に恵まれています。通っている学校は全学年1クラス。今のクラスも6年間クラス替えはありません。学校の先生方もみんな歩のことを知っています。

歩の障害について、お友達には先生から説明してもらい、私は親御さんたちに懇談の度にお話ししました。お友達は歩がどんな障害があつてどんなことができない、どんなサポートが必要かなど、自然にわかってくれています。

この子たちと一緒にあれば、どんなことも安心なのです。

こぐまでのグループもそうです。クラスは違うときもあつたけど、ずっと一緒にすごしてきました。ママたちに会うのも私の大事な時間です。

歩はウルトラマンが大好きです。毎年夏、東京であるイベントへ行っています。慣れない場所で2人分の荷物を持ち、多動の歩の手を引いて・・・考えただけでもどつと疲れてしまつて、結局「どうにかなるやる」で車で行っています。(私があまり毎年車で行くので、西本先生がやってみて大変だったとか(笑))

歩の障害は見た目ではわかりません。しかも、その日その時で変わります。それをちゃんと自分で説明できるか・・・でもきつと「どうにかなるやる」ですね。歩の明るい未来のためにも、とーちゃんとかーちゃんも少しでも長生きせんといいかなーと思っています。(歩の母)



毎年グループの先生方と一緒に参加しています。横田先生と西本先生です。おめでとうございます。

こぐまLINE



保育士 白比生

皆さん、こんにちは。児童発達支援センターゆうで保育士としております。人前でお話しすることが苦手な私ですが、この場を借りて保育士を目指したきっかけをお話できればと思います。

出身は篠栗町という田んぼと山に囲まれた自然いっぱいの中で、3人きょうだいの長女です。一番下の12歳差の弟は就学前に自閉スペクトラム症の診断を受けました。当時、母がたくさんの障がいに関する本を読んだり、通える療育施設を探したり、就学に向けて悩みを抱えていたことを覚えています。そういう環境で育つたからか、将来の夢を考えると自然と「療育」という言葉を知り、大学の保育実習では障がい児施設を希望しました。実習先で、保育活動や日々のやりとりで子どもたちの「楽しい」と笑顔になる瞬間に出会いもつと笑顔を引き出したいと感じ、「どうしたら楽しいと感じてくれるかな」と考えるようになりました。

未熟な私ですが、今までの経験や知識を生かし今後も学ばせて頂きながら、「人と関わることは楽しい」と思ってもらえるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。

新年のご挨拶を申し上げます



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和4年は、「こぐま福祉会40周年」という節目の一年となりました。40年という歴史と実績をしっかりと振り返る一年でもありました。これからのこぐま福祉会の未来を考える時、40年経った「幹」そしてその「根」をさらにたくましく成長、進化させることが大切と考えております。また、上へと伸びる若い枝、若い芽も、のびのびと、力強く、大切に成長させることも必要なことと考えております。

令和5年、41年目のスタートです。新たなチャレンジの始まりです。職員一同、さらなる支援向上に向け、それぞれが新しい目標を掲げ、一方で「こぐま学園だからこそできる支援とは何か」を追求しながら、皆様の期待にそえるように、日々精進してまいります。

今年も一年、どうぞよろしくお願い致します。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

(理事長 佐藤英二)



七五三おめでとうございます。
 これからの健やかな成長と、
 笑顔いっぱいの日を心から
 お祈り致します。



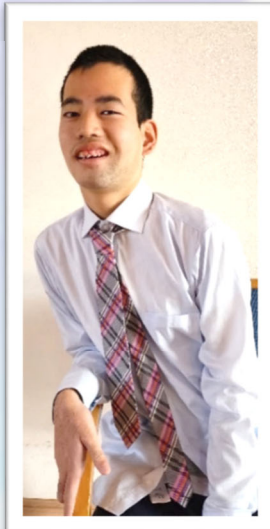
成人

おめでとうございます



皆様の人生に、沢山の幸せ
 な出会いがあるよう祈っており
 ます。

これからもご活躍を心より祈
 念致します。



楽しかったクリスマス会

クリスマスは各グループで活動をし、サンタさんへお手紙を書いたり靴下を飾ったりしてクリスマス会を楽しみました。そして子ども達の願いがこもった作品でロビーも賑やかになりました。サンタさんにみんなの願いが届いたと思います。(保育士 川内)



Smile work リース販売

就労継続支援 B 型事業 Smile work で、クリスマスリースの制作・販売を行いました。利用者さんは初めての試みでしたが、針葉樹の香りに癒され、飾り付けをする作業を楽しみながら取り組まれていました。受注販売も好評で、毎年恒例の活動にしていきたいと思えます。

(職業指導員 末安)



大熊会長が表彰されました

小郡市制施行 50 周年記念式典が 11 月 3 日(木)に文化会館にて行われました。その中で、全国に向け郷土の誇りととなり、次世代に伝えるべき素晴らしい功績を挙げられた方ということで、こぐま福祉会の 大熊猛会長が表彰されました。大熊会長は、社会福祉法人こぐま福祉会を設立され、永年にわたる、障がい児・者のため、地域と連携した医療・福祉・教育の総合療育を精力的に推進されてきました。また、県内外に及ぶ広範囲な支援を通じて、地域住民の福祉向上と障がい福祉制度の基盤づくりに向けて尽力されてきました。

今回、大熊会長が表彰されたことは、こぐま福祉会の職員として誇りに思っています。

(常務理事 林)



「全国児童発達支援協議会 中四国・九州ブロック研修」

10月29日(土)〜30日(日)、「今、子ども達にとつて必要な支援とは？」というテーマで研修会を開催しました。小郡市での開催という事もあり、こぐま福祉会が企画運営をさせていただきました。対面とオンラインのハイブリッド形式にて全国各地から 200 名以上の方にご参加頂き、特別講演と事業所の取り組みについて演題発表を行いました。

現在、子ども達の支援の在り方が多様かつ複雑になっていく中で、あらためて「今、本当に必要な支援」について考えさせられる機会となりました。(はぐ園長 木下義博)

園内研修

11月29日(火)に小郡市生涯学習センター七夕ホールにて「第18回こぐま福祉会園内研修」を開催しました。新型コロナウイルスの影響で職員全員が集まり実施するのは3年ぶりとなりました。

各部門から取り組みの発表が5演題あり、取り組みの内容や経過を報告し活発な質疑応答が、行われました。

(園内研修委員 齋藤)



「寄附 ありがとう」が届きます

- 小郡市商工会女性部様 (お花)
- 小郡市商工会青年部様 (クリスマスのお菓子)

入退職のご報告

- 入職者紹介 あすは
- 北崎 明日葉 (Life 心理士) 1月
 - 堀川 真澄 (バス添乗) 12月
 - 塩川 敏幸 (営繕) 12月
- 退職者ご報告

行事予定

- 1月 26日(木) 避難訓練
- 2月 18日(土) 避難訓練
- 3月 3日(金) 避難訓練
- 20日(月) ゆう遠足
- 22日(水) ゆう遠足
- 28日(火) はぐ・しろくま・ゆう 就学お祝い会
- 29日(水) こども支援 31日(金)
- 30日(木) 診療所 31日(金)
- 4月 1日(土) 診療所 開所
- おとな支援 開所
- こども支援 始園式

